

令和 7 年 10 月教育長定例記者会見

期 日 令和 7 年 10 月 10 日（金）

時 間 15：30～15：37

出席記者 テレビ新広島、広島テレビ、NHK、読売新聞、RCC、中国新聞、朝日新聞、
共同通信

【第 25 回広島県高校生スペシャリストの祭典について】

朝日新聞： すみません、朝日新聞の武田といいます。まとめて質問させていただきたいのですが、何校参加されて、そもそも開催の狙いというのが、産業教育を学ぶ生徒がやや少ないからなのだと思うのですが、その狙いと、今回の目玉として、どういう展示でも発表でもいいんですけれども、一つ挙げていただければ（と思います）。

教 育 長： はい。まず参加する生徒ですが、高校で、全 65 校から、今のところ 100 名以上の生徒の参加を予定しております。趣旨としては冒頭申し上げたとおり、いわゆる産業教育、実業教育ですね、農業、工業、商業、家庭、看護、福祉といった、専門教育を学んでいる生徒の活躍の場、学びの発表の場として設けているものでございまして、実際の成果を広く普及したいと考えております。目玉を 1 つ取り上げると、支障が出てしまうようなこともありますけれども、こちらのチラシにもありますように、ステージの発表で、例えば家政でいうとファッションショーが昨年もあり、それぞれ創意工夫を凝らした作品を生徒が作って、ファッションショーをしておりますし、また、調理の実演もございます。また、農業高校で収穫した農作物や、その農作物を使って作った商品も販売をしたりとか（しております）。また、工業高校では、制作したものを展示したりとか、実際に触って体験できる場もございます。昨年は週末ということもあって、高校生以下の小さなお子さんも含めて、工業高校の作った作品とか、ラジコンカーなどもありましたので、今年も体験できるコーナーがありますので、中学生だけではなく、広く小学生や未就学のお子さんにも体験いただきたいというふうに思っております。広く、ものづくりの魅力ですとか、介護や家庭を含めた専門教育の魅力について触れていただきまして、魅力を感じていただければというふうに思っております。ありがとうございます。

朝日新聞： ありがとうございます。追加で短く、こうした専門教育、産業教育を学ぶ志願者数の、この 25 年でどういう傾向があるかだけ教えていただけますか。

教 育 長： 今手元にデータがないので、後で担当からお伝えさせていただければと思います。

朝日新聞： ありがとうございます。

（以上）